

| 大型大輪系の白色グラジオラス新品種候補「ひたち12号」（仮称）の育成 | | | |
|--|-------|------|----|
| [要約] グラジオラス新品種候補「ひたち12号」は、業務用途向けの大型大輪系の白色系統である。中生で、出荷規格を満たす切花長の確保が複数作型で可能である。穂焼け症耐性は中またはやや強で、主要病害の発生は現在の主力白色品種と同程度に少ない。 | | | |
| 茨城県農業総合センター生物工学研究所 〃 園芸研究所 | 令和4年度 | 成果区分 | 普及 |

1. 背景・ねらい

グラジオラスは本県の主力切り花品目（全国第2位）であり、露地栽培でありながら10a当たりの所得が約60万円と高いため、若手を含めた新しい経営体が増えつつある。また、現在利用されている白色品種は海外品種のみであり、植物検疫による防疫措置により球根輸入が不安定となることから、安定生産を図るために県オリジナル品種の育成が求められている。そこで、本県の作型に適した、需要の大半を占める業務用途向け（大型大輪系白・ピンク）の商品性の高い県オリジナル新品種を育成する。

2. 成果の内容・特徴

- 1) 「ひたち12号」は平成23年交配「ニューウェーブ」×「南都」の選抜系統である。
- 2) 花色は白・フリル（写真左）。中央内花被片が極薄黄になる場合があるが、肉眼での色味の差は「スノードン」と比べて、ほとんどない（写真右）。
- 3) 切花長は125～145 cm程度で、複数年・複数作型で切花長110 cm以上を安定して確保できる（表1）。
- 4) 花径は9～10 cmの大輪（表1）、花付きはやや疎、草姿はやや細めの場合がある。
- 5) 到花日数は「ソフィー」よりやや遅く、「スノードン」と同程度で中生である（表1）。
- 6) 主要病害の発生は「ソフィー」、「スノードン」と同程度に少ない（表1）。
- 7) 穂やけ症耐性は中またはやや強で、「スノードン」より強く、「ソフィー」と同等かやや弱い（データ略）。
- 8) 球根増殖性は「常陸はなよめ」と同等以上の良である（データ略）。
- 9) 現地検討会において関係者からは、花色、花の大きさ・バランス、総合評価の全てでやや良～良と、高く評価されている（表2）。
- 10) 現地適応性検定試験の結果、収量性・作りやすさ、切り花品質、総合評価は「良」で、導入希望、品種化要望は「有」である（表3）。
- 11) 市場・流通関係者からは、花色・花の大きさ・全体のボリュームは「良い」が約7～8割と高い。商品性は「良い」が55%、「普通」が39%である。取扱い希望時期は「通年」（5～11月）が43%と最も高く（データ略）、通年で需要が見込まれる。

3. 成果の活用面・留意点

- 1) 発芽日数は現地慣行白色品種と比べて、同日～10日程度遅い場合がある。
- 2) 4等球根でも十分な切り花品質が得られるが、抑制作型ではブラインド発生が多くなるため、3等球根を使用する。
- 3) 普及対象：県南地域（土浦市周辺市町）

4. 具体的データ

表1 「ひたち12号」の特性 (R1~R4)

| 系統・品種 | 試験年度 | 定植日 (月/日) | 開花日 (月/日) | 到花日数 (日) | 花色等 | 丈・ボリューム | | | | 病害発生 (達観6段階評価) | | | |
|--------|------|--------------|--------------|-------------|--------|-------------|-------------|------------|------------|----------------|-----|-----|--------|
| | | | | | | 切花長 (cm) | 花穂長 (cm) | 花径 (cm) | 小花数 (花) | 赤斑病 | 首腐病 | 乾腐病 | ウイルス症状 |
| ひたち12号 | 令和4年 | 4/28 | 7/26 | 89 | 白・フリル弱 | 139.1 | 54.0 | 10.3 | 13.7 | 無 | 無 | 少 | 微 |
| | 令和3年 | 4/28 | 7/20 | 83 | | 146.5 | 62.6 | 10.0 | 15.9 | 無 | 微 | 無 | 微 |
| | 令和2年 | 4/28 | 7/26 | 89 | | 126.3 | 56.6 | 8.9 | 14.2 | 微 | 少 | 微 | 少 |
| | 令和元年 | 4/27 | 7/30 | 94 | | 130.0 | 56.0 | 9.2 | 15.2 | 無 | - | - | 少 |
| | 4年平均 | | | 88.8 | | 135.5 | 57.3 | 9.6 | 14.8 | | | | |
| ソフィー | 令和4年 | 4/28 | 7/23 | 86 | 白 | 136.6 | 53.6 | 9.4 | 14.7 | 微 | 無 | 中 | 少 |
| | 令和3年 | 4/28 | 7/20 | 83 | | 132.3 | 57.7 | 9.7 | 17.3 | 無 | 微 | 無 | 少 |
| | 令和2年 | 4/28 | 7/12 | 75 | | 132.2 | 60.7 | 9.9 | 18.8 | 微 | 微 | 無 | 微 |
| | 令和元年 | 4/27 | 7/14 | 78 | | 140.0 | 72.0 | 10.5 | 21.2 | 微 | - | - | 微 |
| | 4年平均 | | | 80.5 | | 135.3 | 61.0 | 9.9 | 18.0 | | | | |
| スノードン | 令和4年 | 4/28 | 7/26 | 89 | 白 | 129.0 | 40.3 | 10.1 | 13.4 | 無 | 無 | 無 | 少 |
| | 令和3年 | 4/28 | 7/22 | 85 | | 154.7 | 61.5 | 10.0 | 16.7 | 無 | 無 | 無 | 少 |
| | 令和2年 | 4/28 | 7/15 | 78 | | 142.6 | 57.7 | 10.1 | 17.5 | 少 | 無 | 無 | 微 |
| | 令和元年 | 4/27 | 7/26 | 90 | | 123.8 | 53.6 | 9.2 | 17.4 | 少 | - | - | 無 |
| | 4年平均 | | | 85.5 | | 137.5 | 53.3 | 9.8 | 16.2 | | | | |
| ひたち12号 | 令和4年 | 3/4 | 6/27* | 115 | 白・フリル弱 | 111.4 | 53.0 | 8.9 | 16.6 | - | - | - | - |
| | 令和4年 | 4/21 | 7/24 | 94 | 白・フリル弱 | 132.5 | 50.2 | 9.9 | 13.0 | 無 | 無 | 微 | 無 |
| | 令和4年 | 5/26 | 8/19 | 85 | 白・フリル弱 | 145.7 | 56.1 | 10.7 | 15.3 | 無 | 無 | 無 | 微 |
| | 令和4年 | 6/16 | 9/6 | 82 | 白・フリル弱 | 144.5 | 61.1 | 11.0 | 14.4 | 微 | 無 | 微 | 微 |
| | 令和4年 | 8/5 | 10/31 | 87 | 白・フリル弱 | 138.6 | 53.4 | 10.9 | 12.1 | 微 | 無 | 無 | 無 |

1) 耕種概要: 令和元年、令和4年はN:P₂O₅:K₂O=各10kg/10a (肥効調節型肥料15-15-15、全面全層施肥)、令和2年と令和3年は無肥料。その他の栽培および病害虫管理は茨城県栽培基準に準じた。令和4年の3/4定植のみ透明マルチ栽培で実施した。定植間隔は3~4等球を4条植え・株間10cm間隔とした。
 2) 花き形質に関する調査は農林水産省品種登録審査に係るグラジオラス属審査基準に準じて行った。*は開花日ではなく、切前収穫による採花日の中央値を示す。病害発生は無、微、少、中、多、甚の6段階評価(・は未調査を示す)。
 3) 供試球根は3~4等球(令和3年の「ソフィー」、令和4年はいずれの品種も3等球)を使用した。また、「ソフィー」は輸入球を用いた。令和元年は生育中庸な5本、令和2年から令和4年は生育中庸な10株で調査した(令和3年「スノードン」は6本で調査)。*の開花作型では収穫可能な全株を調査した。

表2 「ひたち12号」の現地検討会における関係者評価 (R3)

| 系統 | 花色 (1~5) | 花の大きさ・バランス (1~5) | 総合評価 (1~5) | コメント |
|--------|-------------|---------------------|---------------|--|
| ひたち12号 | 4.7 | 4.5 | 4.5 | <ul style="list-style-type: none"> ・首腐病に強ければ非常に有望かと思う(生産者) ・花の間が空いているのが気になる、ソフィーと比べて日持ち性はどうか気になる(JA関係) ・穂やけ症発生が少ない、花大きそう(JA関係) ・早めに現地へ出して欲しい(普及) ・蕾がやや黄、穂やけ症は少ない(研究) ・耐病性と穂やけ症耐性は○(行政) |

1) 5段階評価、1:良くない、やや良くない、3:普通、4:やや良い、5:良い
 2) 値は、生産者・JA関係・個人(就農希望者)・球根団体・県関係(普及、研究、行政、教育)の参加者13名の内、回答のあった12名の平均値を示す。

表3 「ひたち12号」の現地適応性 (R4)

| 評価項目 | 評価 |
|----------|----------------|
| 収量(歩留り) | 極良 (良) 普通・劣・極劣 |
| 作りやすさ | 極良 (良) 普通・劣・極劣 |
| 赤斑病の発生 | (無) 少・普通・多・甚 |
| アザミカ類の発生 | (無) 少・普通・多・甚 |
| ダニの発生 | (無) 少・普通・多・甚 |
| 穂腐れ症の発生 | 無 (少) 普通・多・甚 |
| 穂焼け症の発生 | (無) 少・普通・多・甚 |
| 切り花品質 | 極良 (良) 普通・劣・極劣 |
| 総合評価 | 極良 (良) 普通・劣・極劣 |
| 導入希望 | (有) 無 |
| 導入見込(個人) | 60,000球 |
| 品種化要望 | (有) 無 |



写真左 「ひたち12号」の花姿
 写真右 抑制作型における花色比較
 (左:「ひたち12号」、右:「スノードン」)

5. 試験課題名・試験期間・担当研究室

新品種育成普及促進事業・平成6年度～・生物工学研究所 果樹・花き育種研究室
 園芸研究所 花き研究室